

【記録1】

緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書

様

- 1 あなたの状態が下記のABCをすべて満たしているため、緊急やむを得ず、下記の方法と時間等において最小限度の拘束を行います。
- 2 ただし、解除することを目標に鋭意検討を行うことを約束いたします。

記

A 利用者本人又は他の利用者等の生命又は身体が危険にさらされる可能性が著しく高い			
B 身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替する看護・介護方法がない			
C 身体拘束その他の行動制限が一時的である			
個別の状況による拘束の必要な理由			
身体拘束の方法 〈場所、行為(部位・内容)〉			
拘束の時間帯及び時間			
特記すべき心身の状況			
拘束開始及び解除の予定	月	日	時から
	月	日	時まで

上記のとおり実施いたします。

令和 年 月 日

八郎潟町社会福祉協議会

代表者

記録者

(利用者・家族の記入欄)

上記の件について説明を受け、確認いたしました。

令和 年 月 日

氏名

(本人との続柄 )

【記録2】

緊急やむをえない身体拘束に関する経過観察・検討記録

様

月 日 時	心身の状態等	再検討結果	事業所等カンファレンス参加者名	記録者 サイン